

様式2-2 地区の概要

福岡中央地区(第3期)(富山県高岡市)都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	従前値	目標値	従前値	目標値	従前値	目標値
大目標 福岡中央地区が有する生活基盤や歴史・文化資産を活かした『地域拠点の形成』	地区内の人口密度	単位:人/ha	30	H27	30	R5	27.7	R5
目標1:安全性、快適性、利便性の高い生活拠点づくり	住民満足度	単位:%	48	H30	58	R5	65.3	R5
目標2:歴史・文化資産を活かした交流拠点づくり	文化交流施設の入館者数	単位:人/年	125,365	H29	140,000	R5	123,781	R5



①-1 道路整備事業【道路】



②-1 菺川1・2号公園等整備事業【公園】



①-2 菺川プロムナード整備事業【高質空間形成施設】



③-1 福岡駅前自転車駐車場整備事業【地域生活基盤施設】



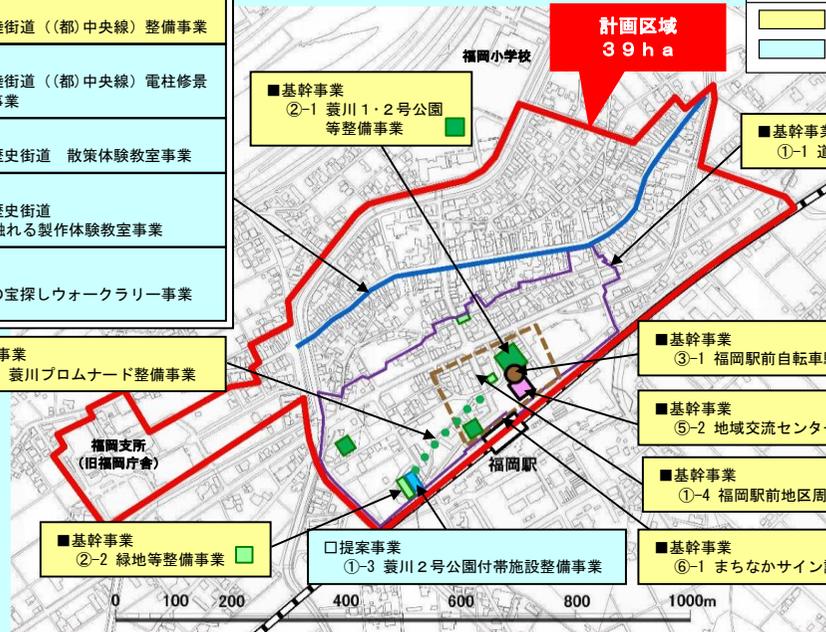
①-4 福岡駅前地区周辺整備事業【高質空間形成施設】



④-1 旧北陸街道((都)中央線)整備事業【高質空間形成施設】

旧北陸街道関連	
■ 基幹事業	④-1 旧北陸街道((都)中央線)整備事業
□ 提案事業	④-2 旧北陸街道((都)中央線)電柱修景整備事業
□ 提案事業	⑥-2 福岡歴史街道 散策体験教室事業
□ 提案事業	⑥-3 福岡歴史街道 管に触れる製作体験教室事業
□ 提案事業	⑥-4 まちの宝探しウォークラリー事業

■ 基幹事業	①-2 菺川プロムナード整備事業
■ 基幹事業	②-2 緑地等整備事業



⑤-2 地域交流センター整備事業【高次都市施設】



⑥-1 まちなかサイン設置事業【地域生活基盤施設】



⑥-2 福岡歴史街道 散策体験教室事業【まちづくり活動推進事業】

まちの課題の変化

- 連続性のある歩行者動線を確保するため、現在整備をしている歩行者ネットワークの整備推進に努める必要がある。
- 潤いのある居住環境や歩行者が休憩・滞留できる環境の形成に向けて、現在整備をしている公園やポケットパークの整備推進に努める必要がある。
- 地区内人口は減少傾向が続いているため、引き続き、移住・定住の促進に取り組んでいく必要がある。
- 安全安心な居住環境の形成に向けて、近年、頻発・激甚化している自然災害への対応も必要である。
- 福岡にぎわい交流館以外の文化交流施設の入館者数は、コロナ禍以後、徐々に回復しているものの、コロナ禍以前の水準まで戻っていない施設も見られるため、引き続き交流の場として利用を促す必要がある。
- 住民満足度によると、「活気やにぎわい」に対する評価が、以前よりは大きく伸びているが、他の設問と比べると低いため、交流の場や機会を引き続き創出する必要がある。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- 移住定住の促進
 - ・移住定住の促進に向けて、快適で暮らしやすい居住環境を整えるため、生活に不可欠な都市基盤を適切に管理するとともに、引き続き、居住支援など移住・定住のための施策に取り組む。
- 歩行者ネットワークの充実
 - ・生活拠点や文化交流拠点をつなぐ歩行者ネットワークについて、誰もが安心して快適に歩ける歩行者空間としての充実を図る。
- 防災まちづくりの推進
 - ・安全安心に暮らし続けることができるよう、災害に強いまちづくりを推進する。
- 歴史・文化資産の価値の向上
 - ・旧北陸街道やその沿道、また、周辺の文化交流施設の価値を高めるため、修景整備や交流機能の強化を行う。
- 歴史・文化資産の活用
 - ・人々の交流を促し、地域の活気やにぎわいを創出するため、歴史・文化資産を活かしたイベントなどを継続的に開催する。
- 官民連携による地域の活性化
 - ・民間企業や市民活動団体などが主体となって実施する地域活性化に係る取組を支援する。